

カワセみ

2021
第91号
(8月15日発行)



お知らせ

◎ **お月見観望会** を実施します。

日時：9月18日(土)、19日(日) 17:00~19:00

参加費：無料 ※小学生以下は保護者同伴

前日または当日の日中に窓口または電話で申し込んでください。

◎ **自然学習館活動サークル合同作品展覧会** を開催します。

日時：10月2日(土)~11日(火) 9:00~17:00

(初日2日は13:00より 最終日11日は15:00まで)

年末・年始休館日：12月28日(火)~2021年1月4日(火)



上尾市自然学習館

〒362-0065

上尾市大字畔吉178

TEL 048-780-1030

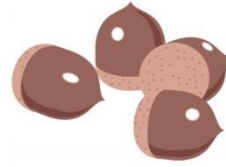


10月

どんぐりを拾って、
どんぐり笛やこまを作ろう

上尾丸山公園内のいろいろな種類のどんぐりを拾い、
形や大きさなどを調べます

- ◆日時：10月17日(日) 9時30分～12時(雨天でも実施)
- ◆定員：6人(先着順) (小学生以下は保護者同伴)
- ◆参加費：無料
- ◆服装：帽子、活動しやすい服装
- ◆持ち物：ビニール袋
- ◆申込み：9月1日(水) から(市外 翌日から)



かわいいどんぐりカレンダーを作ろう

公園内のどんぐりでオリジナルカレンダーを作ります

- ◆日時：10月23日(土) 9時30分～12時(雨天でも実施)
- ◆定員：6人(家族1個) (小学生以下は保護者同伴)
- ◆参加費：無料
- ◆申込み：9月1日(水) から(市外 翌日から)



11月

葉っぱを調べて、
葉っぱで遊ぼう

葉を調べた後、葉脈を取り出してカードを作ります

- ◆日時：11月7日(日) 9時30分～12時(雨天でも実施)
- ◆対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)
- ◆定員：6人(先着順)
- ◆服装：帽子、活動しやすい服装
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：筆記用具、ビニール袋
- ◆申込み：10月1日(金) から(市外 翌日から)



つる植物を調べて、ステキなリースを作ろう

上尾丸山公園内のつる植物を観察し、その特性を生かして飾りを作ります(1家族1個)

- ◆日時：11月21日(日) 9時30分～12時(雨天でも実施)
- ◆対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)
- ◆定員：6人(先着順)
- ◆服装：帽子、活動しやすい服装
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：ビニール袋、軍手、剪定ハサミ、ペンチ(持っている人)
- ◆申込み：10月1日(金) から(市外 翌日から)



12月

マツボックリを見つけて、
クリスマスツリーを作ろう

いろいろなマツボックリを観察し簡単な飾りを作ります。

- ◆日時：12月5日(日) 9時30分～12時(雨天でも実施)
- ◆定員：6人(小学生以下は保護者同伴)
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：作った飾りを持ち帰る袋
- ◆服装：帽子、活動しやすい服装
- ◆申込み：11月1日(月) から(市外 翌日から)



オリジナルのクリスマス飾りを作ろう

マツボックリやドングリで簡単なクリスマス飾りを作ります

- ◆日時：12月11日(土) 9時30分～12時(雨天でも実施)
- ◆定員：6人(小学生以下は保護者同伴)
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：作った飾りを持ち帰る袋
- ◆服装：活動しやすい服装
- ◆申込み：11月1日(月) から(市外 翌日から)



1月

新年特別教室
名前入りの
江戸角凧を作ろう

自分の名前が入った縁起凧を作って揚げます

- ◆日時：1月9日(日) 9時30分～12時
- ◆定員：6人(小学生以下は保護者同伴)
- ◆参加費：1,500円
- ◆服装：手袋(軍手)
- ◆申込み：12月1日(水) から(市外 翌日から)



大人のバードウォッチング ①

冬鳥を中心に目と耳を使って
公園の鳥を観察します



- ◆日時：1月13日(木) 9時30分～12時
- ◆定員：6人 ◆対象：18歳以上の方
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：双眼鏡(貸し出しあり) ※雨天中止
- ◆服装：活動しやすい服装
- ◆申込み：12月1日(水) から(市外 翌日から)

フラワー アドベンチャー

自然学習館周辺の、四季折々の花の名前と花言葉を探すアドベンチャーです。6月からスタートしました。自然学習館の受付で午前9時から午後4時まで受け付けています。いつでも体験できますので、ぜひチャレンジしてください。



年末教室 しめ縄作

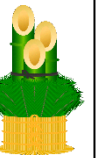
もち米のわらを使って
しめ縄を作ります

- ◆日時：12月25日(土) 9時30分～11時30分
- ◆定員：10人(家族1個)
- ◆持ち物：木バサミ
- ◆参加費：1,000円
- ◆服装：床に座って作業できる服装
- ◆申込み：11月1日(月) から(市外 翌日から)



小型 門松作り

竹林の孟宗竹で
小型の門松を作ります



- ◆日時：12月25日(土) 13時30分～15時30分
- ◆定員：6人(家族1個)
- ◆持ち物：軍手
- ◆参加費：1,500円
- ◆服装：作業できる服装
- ◆申込み：11月1日(月) から(市外 翌日から)

各教室の申込みについて

- ◎受付初日市内在住の方2日目から市外の方
午前9時～午後5時
- ◎教室申込：電話で申し込んでください。
(電話：048-780-1030)
- ◎有料の教室：参加費は教室当日にご持参ください。
(*キャンセルの場合は料金をいただく場合があります)
- ◎雨天中止と記載されていない教室は、
すべて雨天でも実施します。

自然観察会

自然学習館では、自然学習館周辺で自然観察を行っています。四季おりおりの自然を身近に感じられる楽しいひとときを、自然学習指導員と一緒に過ごしてみませんか。
子供から大人までどなたでも参加できます。

- ◎開催日：毎週土曜日・日曜日 ※雨天決行
(自然学習教室の開催日を除く)
- ◎時間：午前は10時30分から。
午後は1時30分から。
所要時間は約1時間。
- ◎受付：当日、自然学習館の受付にて。
午前は10時から。午後は1時から。
- ◎参加費：無料

グリーンアドベンチャー

丸山公園内に約30分間で1周できるグリーンアドベンチャーコースがあります。コースを巡りながら名札の付いている木について学んだり、番号札の付いている木の名前を答えるという、自分が主体となって木を学習する仕組みです。
いつでも体験できますので、どんどんチャレンジしてください。
自然学習館の受付で午前9時から午後4時まで受け付けています。





豆知識



卵を産んで子孫を残すことを卵生といいます。親の体内で孵化させ、子供の形で産むことを胎生といいます。胎生は大部分の哺乳類の子孫の残し方になりますが、卵生は、ほとんどの魚類、両生類、爬虫類、すべての鳥類、単孔類（カモノハシ、ハリモグラなど）、ほとんどの昆虫やクモ綱の繁殖方法になります。今回は、卵について話をしたいと思います。

1 卵の殻はなぜ固い？

皆さんはいろいろな卵を食べたことがあると思います。スーパーで売っている卵は、何の卵かご存じでしょうか。そうです！ニワトリの卵ですね。鶏卵とも言います。ウズラの卵もありますね。一般に鳥の卵には固い殻があります。それに対して、イクラやタラコなどの魚の卵はどうでしょうか。固い殻はありませんね。なぜでしょう？それは、卵を産む場所（環境）が違うからなのです。

一般に、陸上に産む卵は殻があり、水中に産む卵には殻がありません。どうしてでしょう。生物にとって地上は水中よりも厳しい環境です。卵にとっても同じで、卵の中身を守らなければなりません。したがって殻が必要になるのです。



脊椎動物（背骨がある動物）の中で地上に産卵するのは、鳥類と爬虫類です。鳥の卵はご存じでしょうが、爬虫類の卵を見たことはあるでしょうか。トカゲ、ヤモリ、ヘビ、カメ、ワニなどが爬虫類のなかまです。ウミガメの産卵のシーンは、テレビなどでご覧になった方もいると思います。爬虫類は、薄い弾力のある殻の卵を土や砂の中に産みます。土や砂の中は外よりも暖かく適度な湿り気があり、乾燥を防ぐことができます。鳥の卵のような固い殻は必要としません。それに対して鳥類は陸上に産卵し、親が温めて雛をかえします。乾燥や衝撃から中身を守らなければなりません。ですから固い殻が必要となるのです。自然はとても合理的にできています。

2 なぜ魚はたくさん卵を産むの？

みなさんはタラコを食べたことがあると思いますが、とても多くて数え切れません。魚のなかまのマンボウは、1回に2億～3億個ほどの卵を産むそうです。イクラは鮭の卵ですが、産卵数は3000～4000個ほどです。トカゲは15～30個、カメは数十個、鳥類は種類によって違いますが2～8個ほどです。なぜ魚類は多いのでしょうか。これは、産む場所と関係があります。土や砂の中は他の動物に発見されにくく、少ない卵でも子孫を残すことができます。ところが水中は違います。鮭は川の上流で砂利を掘り、産んだ卵に砂利をかけて隠します。孵化した稚魚は、ある程度大きくなってから川を下り海に行き成長します。それに対して海の魚は、海中に産卵するので、隠れる場所がなく多くの卵がほかの動物に食べられてしまいます。産卵数が多くないと子孫を残すことができないのです。それに比べ、鳥類の産卵数が極端に少ないのはなぜでしょう？鳥類は産んだ卵を親鳥が温め、雛にかえします。そして親が餌を与え、時には敵から子を守り、ひとり立ちできるまで大事に育てます。ですから産卵数が少なくても子孫を残すことができるのです。1回に産む卵の数は、水中か陸上か、卵を隠すか隠さないか、親が育てるか育てないかなどによって決まってきます。いずれにせよ、子孫を残すのに適した数の卵を産むのです。

